

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コンプリオ第三事業所		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 26日		～ 2025年 12月 12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2025年 11月 26日		～ 2025年 12月 12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの特性を理解したうえで、子どもに合った支援を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に面談やモニタリングを行い、児童に対しての理解を深めている。 支援計画作成前と作成後に保護者の方から意見をいただき、よりニーズに近い計画で支援を行う事ができるよう努めている。 職員間では、月に2回班でのMTGを行う事で意見を出し合い、普段の療育後にも児童の様子を共有し合い、療育に生かしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員同士で話す機会を充実し、日々の変化を見逃さないよう情報共有を行う。
2	子どもが安全に過ごせるように対策を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> 外部から不審者の侵入がないように施錠を行っている。 アレルギーや服薬に変更があった場合は職員に周知し、事故の無いように努めている。 緊急時の対応ができるよう、避難訓練を実施している。 怪我や事故があった場合はインシデントやヒヤリハットの報告書を記入し再発防止に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 忘れ物や破損、衣服の破れの無いよう、児童の持ち物にもさらに意識を向ける。
3	集団の中でも個々が過ごしやすい環境になるように工夫している。	<ul style="list-style-type: none"> 児童の好きな遊びや過ごし方を見つけることができるよう、新しい過ごししの提供を行っている。 一人で過ごしたい、落ち着いて勉強をしたい児童には小部屋を活用していただき、落ち着いたタイミングで集団に戻れるよう支援を行っている。 好きな遊びからよりレベルの高い行動や作業につながるよう工夫して活動提供を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 面談時に家での過ごしや共有ブームなども聞き取り、療育に生かし、楽しい気持ちでできることを増やしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学校や学童との交流を行えておらず、地域の子どもと接する機会がない。	<ul style="list-style-type: none"> 地域のお店などとの交流の機会を設けているが児童の施設との交流の機会がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ケース会議やお迎え時に学校や学童とも交流を持ち、児童同士が交流できる機会につながるようにする。
2	ペアレントトレーニング、保護者会などを行えていない。	<ul style="list-style-type: none"> 保護者様との時間が合わない、ニーズもないので行っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ニーズがあった際に行う事ができるように開催するシュミレーションを行う。